

研修 評価

研修名	看護補助者標準研修（看護補助体制充実加算該当パッケージ）				
領 域	診療報酬に関連した研修	会場	新潟県吉田病院 附属看護専門学校	受講料	看護管理者 会 員：15,000 円 非会員：30,000 円
対 象	医療機関に勤務する看護補助者 募集数(20 人)応募数(15 人)参加数(15 人)				
日 時	令和 7 年 9 月 24 日（水曜日）13：00～16：30				
ねらい（目標）	1. チームの一員として、看護師の指示のもと、安全な看護補助業務が行えるために必要な知識や技術を習得できる。 2. 直接ケアを主として行う看護補助者向けに必要な知識や技術を習得し、看護チームとして質の高い看護を提供できる。				
講 師	青木洋子 新潟県看護協会 常務理事				
内容・方法	○講義内容 ・講義オンデマンド研修（e-ラーニング） 1) 医療機関で働く看護補助者の役割と業務 1 章医療チームの機能と役割 2 章看護補助者の業務 3 章看護補助者に求められる倫理 4 章看護補助業務を遂行するための基本的な知識・技術 2) 直接ケア総論 1 章直接ケアに関わる医療安全 2 章患者・家族とのコミュニケーション 3) 直接ケア各論 身体の清潔に関する業務、排泄に関する業務、食事に関する業務、安全安楽に関する業務、移動・移送に関する業務 ○演習（集合研修半日） ①食事に関する業務 ②安全安楽に関する業務				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上 ④アンケートの意見 ○参加者数 15 名 75% 【達成・未達成】 ○アンケート結果（回収率 100%） ・理解度 93.3% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 93.3% 【達成・未達成】 ○受講者の意見 ・実際の演習は日々の業務を振り返ることができ、気づきになりました。 ・改めて気をつけていかなければならないことを学習で来た。 ・他の施設の方の意見ややり方などが聞けて良かった。 ・仕事の中で e-ラーニング視聴が難しい部分もありました。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった】 ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：適切であった ・アンケート結果：研修のねらいと内容との整合性、満足度は共に 100%で、目標は達成した。 ○総括：新潟県吉田病院附属看護専門学校の実習室で研修を行った。専門学校の校長・職員に協力いただき、ベッドや物品等を借用しスムーズに進行できた。 ・参加者は、熱心に実習に参加しており、とても好評だった。 ・診療報酬に関連した研修であり、安全で効率的な業務の実施体制を整備するため、今後も実習環境を調整しながら研修を継続していく。				
課 題	○特になし				
担当者	教育研修課				